

【2014年の講演会のご案内】

原因は 遺伝？ 育て方？ 発達障害を生物学的側面から考える

～脳機能障害の遺伝と発症の仕組み～

「シエルの会」会員全員で研修する定例会で、脳科学の分野で発達障害の研究がどう進んでいるのかを取り上げます。

発達障害は「脳機能に起因する障害」（発達障害者支援法の定義）です。では、どのような仕組みで発症するのでしょうか。



発達障害は、多くの遺伝子が関係する多因子疾患とされています。そして、近年、精力的な研究が進められています。

そこで、脳科学の研究、とくに認知を専門としている石浦先生を講師にお招きすることにいたしました。脳機能障害の発症の仕組みをやさしく解説していただき、最近の自閉症研究の状況についても、お話していただきます

【日時】2014年2月16日（日）13時30分より

【会場】仙台市・福祉プラザ 大広間（地下鉄・五橋駅で下車）

【講師】石浦章一氏（東京大学教授、分子生物学）

※会員以外の方も自由に参加できます。参加費は無料です。



＜石浦章一氏の横顔＞

1950年生まれ。1979年東京大学理学系大学院相関理化学博士課程修了。国立精神・神経センター神経研究所疾病研究室長、東京大学分子細胞生物学研究所助教授を経て、1998年より東京大学大学院総合文化研究科・教授。現在、東京大学教養学部副学部長。

主な著書に、「老いを遅らせる薬」（PHP新書、2011年）、「遺伝子が明かす脳と心のからくり」（だいわ文庫、2011年）ほか、脳に関する著書が多数あります。

お問い合わせはメールでお寄せ下さい。
ciel.aspe@gmail.com